

講演会

改善とは何か

トヨタ時代を振り返って

【講師】愛知県副知事 森岡 仙太氏



トヨタ自動車の生産方式「カイゼン」は有名ですが、講師の森岡副知事は、トヨタ自動車の生産管理に長く携わった方であり、「カイゼン」によりどのように仕事を変え、組織を変えていったのかなどについてお話ししていただきます。「トヨタ生産方式」とは、「7つの無駄の削減」「ジャストインタイム生産方式」「自動化」などを主軸としたもので、「kaizen」(カイゼン)として海外でも通用する言葉になっています。工場等の製造現場やそれに付随するスタッフ部門だけでなく、事務部門でも取り入れている企業も多く、トヨタ流マネジメントという方式が提唱されています。

【日時】7月31日(金) 午後6時

【会場】はびあ八雲

【講師略歴】

旭川市出身。北海道大学法学部卒業後、トヨタ自動車に入社。同社春日井事業所長、平成17年にトヨタ自動車常務役員、兼トヨタホーム代表取締役専務、平成19年トヨタホーム代表取締役社長に就任。

トヨタ自動車では、生産方式の「カイゼン」の推進、定着に携わり、トヨタ自動車の発展に貢献しました。

愛知県の大村秀章知事の公約で民間から副知事を招へいすることとなり、平成26年4月、副知事に就任。産業労働環境、農林水産と企業庁を担当。

【主催】八雲町

【問い合わせ先】総務課人事厚生係

入場無料

尾張徳川家移住人会「和合会」 百周年記念講演会 理想郷 八雲のあゆみと尾張徳川家

明治11年、旧八雲町は尾張徳川家により本格的な開墾が始まりました。同年8月1日に、現八雲町役場前に尾張から移住した人たちの手によって、開墾最初の鍬が入れられました。

本年は大正4年、当時の移住者達によって結成された和合会の百周年記念の年にあたり、記念事業として講演会が開催されます。多くの町民の皆様の聴講を願います。

【日時】8月1日(土) 午後2時

【会場】はびあ八雲

【講師】中京大学文学部 歴史文化学科 准教授 白根 孝胤氏

【主催】和合会

【後援】八雲産業株式会社

【問い合わせ先】

和合会(八雲産業株式会社八雲事業所内)

☎0137-62-2608



八雲開墾記念碑
(昭和7年5月15日 和合会建立)

八雲町役場前にある開墾を記念した碑。石碑上段の「我八雲はこの所より開かる」は徳川義親氏の筆を元にしており、石碑の裏には開墾の功労者ら、土台の石には石碑を建立した和合会員の名前があります。

(右側には「東京四谷徳川家御用達北川謹刻」の彫刻)。

入場無料

開町10年
記念事業

出張!なんでも鑑定団in八雲



本年、新八雲町開町10年を迎えることから、記念事業として10月4日(日)に「出張!なんでも鑑定団in八雲」をシルバープラザにて開催します。

お宝募集、観覧募集の詳細については、広報6月号に折り込みしたチラシ又は町ホームページ(<http://www.town.yakumo.lg.jp/modules/kikaku/content0275.html>)をご覧ください。

【応募締切】・お宝募集 7月17日(金) ・観覧募集 8月14日(金)

【問い合わせ先】企画振興課企画係